

システムズアプローチ基礎コース

「システムズアプローチの基礎ポイント」

本コースは、システムズアプローチや家族療法に関心のある方、実践に役立てたい方を対象としたものです。システムズアプローチを行うにあたっての、キー概念とも呼べる「ジョイニング」「ニーズ」「システム」という3つのポイントを一回ずつ取り上げ、3回にわたってその入り口から応用について取り上げます。具体的な臨床場面や事例をもとにした講義と実践の紹介、簡単な演習を通じて、参加者それぞれが臨床実践へとつなげる内容となります。

これまでの学習経験や習熟度は問いません。また、分からないことや疑問点などあれば、遠慮なくお尋ねください。積極的なご参加をお待ちしております。

① ジョイニング

- ・ジョイニングの目的：Thが対象システムに加わり、治療的に機能するシステムを作る
- ・誰でもジョイニングしている？：人への関わり方とコミュニケーション特性
- ・CIや家族の関わり方・Thへの合わせ方
- ・Thが所属する組織・機関システムに応じたジョイニングとそのやり方
- ・個人へのジョイニングと複数の対象者へのジョイニングの違い

② ニーズ

- ・ニーズとは何か：システムズアプローチにおける「ニーズ」の捉え方
- ・クライアント、家族、関係者、治療者それぞれのニーズ
- ・来談経緯からCIや家族の「ニーズ」を捉える
- ・面接場面で治療者とのやりとりに表れるCIや家族のニーズ
- ・ニーズを「活用」する：把握したニーズをどのようにセラピーで扱うか

③ システム

- ・「システム」として見ることの臨床的な有用性と変化の可能性の広がり
- ・様々なレベルのシステムの関連性：生物・心理・集団・社会システム
- ・どこまで何をシステムとして考えるか：治療対象のシステムとその範囲
- ・対象システムの機能向上を目的としたセラピー：一次変化と二次変化
- ・システムを把握する：システムの骨組と仕組みとして
- ・システムに働きかける：把握した部分への働きかけと、全体を把握した上での働きかけ

◇日時 ①：2018年11月25日（日）、②：2019年1月20日（日）、③：3月3日（日）
いずれも 10：00～16：00（昼休憩一時間を含む）

◆会場：板橋グリーンホール <http://www.itabun.com/index.html>

- ①：板橋グリーンホール503会議室、 ②：板橋グリーンホール502 会議室
③：板橋グリーンホール101 会議室

◇参加費：15000円（全3回）

◆参加条件：システムズアプローチや家族療法に関心がある方。現場での家族への対応・支援に役立
たい方など。なお、職種や現場は問いません。大学院生も可。

◇定員：15名

*コース受講の方が優先となりますが、各回単発でのご参加も可能です。その場合、各回7000円となります。

◆講師：中野真也（心理技術研究会 世話人代表／日本家族療法学会認定スーパーヴァイザー）、尾形広行
（獨協医科大学埼玉医療センター／心理技術研究会）、辻本聡（青峰会くじらホスピタル／心理技術研究会）

◇申込み方法：下記メールアドレスに、①お名前、②ご所属、③ご職種、を明記の上、お申込みくだ
さい

◆文献：参加にあたり、なるべく「中野真也・吉川悟著 システムズアプローチ入門——人間関係を
扱うアプローチによるコミュニケーションの読み解き方（ナカニシヤ出版）」をお読み下さい。

shinrigijyutukenkyukai115@yahoo.co.jp

注1：参加費は事前振込となります。申込後に振込口座をお知らせいたします

注2：当方の都合による中止以外は参加費の返金は致しません。予めご了承ください